



# 利用者の声

八女市主催のキャンプに一人で参加した入部くんの感想を聞きました。リーベルでは申し込みの段階で、お母様と市役所に同行し、お手伝いさせていただきました。



左端：入部恵輔さん（寄稿者）  
「友達と一緒に、ハイ！ポーズ」

八女市のキャンプに参加して  
僕は、キャンプに初めて参加しました。  
知らない友達ばかりだったけど一緒にご飯を  
作ったり、泥登りをしたり、ナイトハイクをしたりと  
とても楽しかったです。諫早キャンプ場は、山の中で  
とてもすずしかったので、楽しい3日間でした。  
福島中学校3年1組  
入部恵輔

7月24日～26日の3日間、八女市青少年教育キャンプに参加する事になりました。本人は大変参加意欲があった為、申し込みをしましたが、当日まではいろいろ市役所の方に相談したりして、なかなか大変でした。  
いざ息子をキャンプに参加させたら、親の方が心配になり、夜は電話して様子をうかがったりしました。知らない友達と3日間生活を共にして、本人もいい経験ができたと思います。疲れを見せず、ニコニコした笑顔を見たら、本当に参加させてよかったと思いました。中学校最後の夏の思い出ができてよかったです。有難うございました。  
保護者 入部悠紀子さん

# リーベル通信



発行責任者：八女地区障害者等相談支援センター「リーベル」  
住所：八女市本村 425-9  
電話：身体しょうがい・知的しょうがい・しょうがい児 0943-22-2610  
精神しょうがい 0943-22-2630



## 平成22年度地域自立支援協議会事務局担当者連絡会議

8月9日(月)福岡県庁において、「平成22年度地域自立支援協議会事務局担当者連絡会議」が開催されました。この会議は昨年度から始まり、県内の行政担当者と委託相談支援事業者が一堂に集まり、意見交換、情報の共有化、連携を図ることを目的とし福岡県自立支援協議会事務局で独自に計画されたものです。八女地区からは八女市役所 山口係長、広川町役場 樋口氏、リーベルより相談支援専門員3名(内1名は県アドバイザー)が参加しました。  
安心して暮らせる地域社会の実現の為に重要な役割を果たす、地域自立支援協議会ですが、現在の県下での設置率は63.3%です。

会議では、県のアドバイザーより市町村アンケートをまとめた「現状と課題報告」、講演「個別支援会議の重要性と地域自立支援協議会への課題抽出」、その後、協議会を設置している5つの市町村より現状報告、意見交換がなされました。

講演では、相談者ニーズを明確に聞きとり個別支援会議へ、そして個別課題の積み上げから地域の課題への転換。様々な地域がある中で、円滑な運営の為には、まず地域資源を知り楽しみながら共に行う事が重要と説明がありました。

実際運営している行政からは、設置までの経緯や、運営し専門部会まで立ち上げたが、このままで良いのかという違和感があり休止している所など様々な報告がありました。八女地区からも山口係長より分科会が立ち上がった経緯までの報告を行いました。

八女も同様ですが、色んなやり方を参考にしてその地域にあった自立支援協議会が全ての市町村に出来る事を期待したいと思いました。  
(相談支援専門員 牛嶋文子)

### 八女地区障害者等自立支援協議会：編集

## 「しょうがい者福祉のしおり」(八女市、広川町)完成！！

しょうがいのある方たちが利用できるサービスを記載しています。  
ご希望の方は、八女市役所福祉課、広川町役場健康福祉課窓口までお越し下さい。各支所の福祉の窓口にも置いてありますので、ご活用ください。  
(写真左：八女市版、写真右：広川町版)→



### \*\* 編集後記 \*\*

★いよいよ、分科会がスタート！「生活」「就労」「教育」に関する課題を協議しています。皆さんからご相談を受け、この八女地区の課題として取り組むことができることは何なのか。八女地区での解決法を模索しつつ、さらに県自立支援協議会に繋げます。  
★先日、一人の男性がリーベルに来られました。「〇〇さんは？」・・・昔の記憶を引き出し、そうそう2年前にご家族と一緒にご相談に来られた方でした。日焼けした肌と笑顔、そして自ら楽しそうに話される毎日の生活の様子から元気に過ごされていることがわかります。思わず、こちらも笑顔になりました。是非、お近くにお越しの際はリーベルにお立ち寄りください。今、こんなことやってるよ！とお話を聞かせてください。皆さんの笑顔が、相談員の元気の源ですから。お待ちしております。



## 出張相談のご案内

リーベルスタッフが出張し、下記の日程・場所で相談に対応いたします。お気軽にご相談ください。

地域	日程	時間	会場
広川町	毎月第1火曜	13:00～14:00	保健・福祉センター「はなやぎの里」
黒木町	毎月第3火曜	10:00～11:00	八女市役所 黒木総合支所
矢部村	11/12(金)、H23年3/11(金)	13:00～14:00	矢部村中央公民館
星野村	11/26(金)、H23年2/25(金)	13:00～14:00	総合保健福祉センター「とよかせ」



# リーベルネットワーク会議分科会、始動！



相談を受ける中で、様々な課題にぶつかります。そのために「教育」「就労」「生活」の分野について課題を協議する場として分科会を立ち上げました！それぞれの活動状況報告です。



## 八女地区自立支援協議会（年2回）

## リーベルネットワーク会議（年4回）

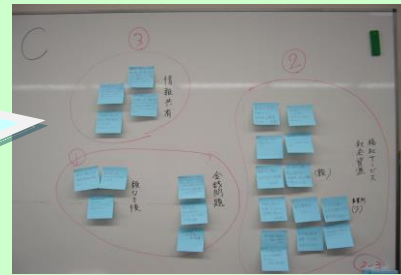
### 生活支援分科会

★6月2日にスタート、そして3回目を8月26日に開催予定。  
「生活」範囲が広く、どこまでが生活なんだろう？ 就労、教育以外は「生活」？  
まず、各事業所で抱えている課題抽出、整理し取りかかる事にしました。グループセッションでは時間が足りない状況。皆さん色々な事を抱えているんだと分かりました。今後は、参加する方が積極的に係り、ひとつでも得るものがあるよう、工夫して行きたい。又、身近な「困ったなあ～」を気軽に協議できる場もありたいと思います。



1:課題抽出作業中。  
「こんな時、困るよね・・・」  
「どうしたらいいのかな・・・」

2:課題整理。  
各事業所の課題を付箋に記入。同じような課題をまとめて行く。「これとこれは、似てるよね・・・」



3:グループセッションの報告。  
「このグループでは、家庭環境、所得保障、情報共有、社会資源の課題等にまとまりました。」

### 就労支援分科会

★6月23日に第1回就労支援分科会を開催。第2回は7月27日開催と月1回のペースで開いています。ハローワークをはじめ、就労関連の福祉事業所等が18事業所参加、現場レベルの方に代表して出席してもらっています。今はまだ各事業所での現状や浮かび上がっている課題を整理して、それぞれに意見を求めている段階ですが、そういった意見交換の中から、解決策を見出したり、分科会としての提案等もしていきたいと考えています。



各事業所において、利用者が抱える課題と支援する事業所(支援者)の課題、実習や就労を受け入れてもらっている企業側の課題など意見をいただく中では、改めて精神的・身体的、発達障害と個人の抱える様々な障害を理解しながら、それに応じた支援をすることの大切さを再認識させられました。

出席していただいている皆さんは、現場の方々ですので、困っている真の現状を伝えてもらえていますし、他の方からいただいた意見を持ち帰って生かしていきたいとの思いも伝わってきています。



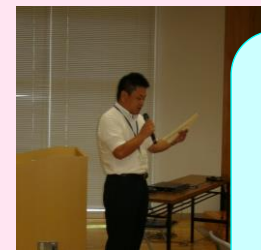
次回(第3回)からの会場については、参加していただいている各事業所を巡回していくことにしています。お互いの事業所を知っていただくことも参加される皆さんにとってプラスに働くものと考えています。



### 教育分科会

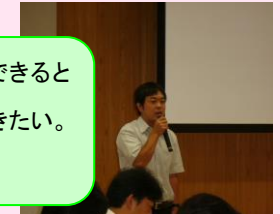
★7月1日に第1回目の教育分科会を開催。  
★8月5日には、八女地区の小・中・高校の「特別支援教育コーディネーターとの意見交換会」を開催。「リーベル」を知ってほしい、「顔がみえる関係づくり」の機会をつくろう、と今回初めてこのような会を企画しました。教育委員会からも参加していただき、「教育」と「福祉」の連携について、活発な意見交換ができたと思います。今後も様々な課題を先生方や行政と一緒に協議できればと考えます。

8/5意見交換会の様子→  
特別支援教育コーディネーターの先生16名に参加いただきました。



学校における支援の取組みを充実するためには、まず各学校での取組みや悩み、喜びなどの情報交換・交流がスタートと感じます。ますますネットワークが深く広くなるよう関わります。  
(八女市学校教育課 白坂 正彦氏)

学校から、もう少しリーベルを気軽に利用できるということを、教育委員会からも働きかけていきたい。  
(広川町教育委員会 松本 尚氏)



個別の相談

個別の相談

個別の相談

個別の相談

個別の相談

個別の相談